

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 24年 2月

応募者名: 岩手県久慈市建設部都市計画課

事業の名称: 都市計画道路下長内旭町線

第3工区街路事業

実施都市名: 岩手県久慈市

事業目的

都市計画道路下長内旭町線は、2つの河川とJR線により分断されていた、消防署があり商業地である南部と市役所など公共施設のある中部、そして県立病院など保健、医療施設のある北部を直線的に結ぶことにより、地区間のアクセスの向上、安全で円滑な交通の確保を図るため、道路新設事業を行ったものである。

事業概要

事業名称: 都市計画道路下長内旭町線(第3工区)街路事業

路線名: 都市計画道路 下長内旭町線

事業箇所: 岩手県久慈市

事業延長: $L=353\text{m}$

総幅員: $W=49\text{m}$

車道幅員: $W=16\text{m}$ (車道 $3\text{m} \times 2$ 、歩道 $3.5\text{m} \times 2$)

側道幅員: $W=6\text{m}$

事業費: $C=2,177$ 百万円

事業実施期間: 平成15年～平成22年

本事業は、2つ河川とJR線分断された地域を直線的連結する幹線道路を新設整備するものである。

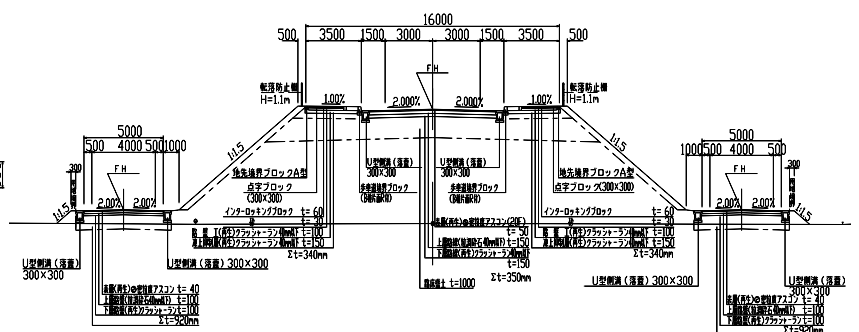
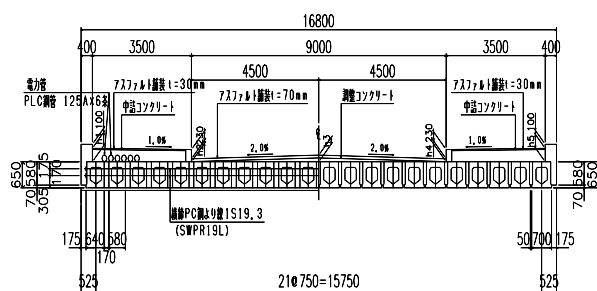
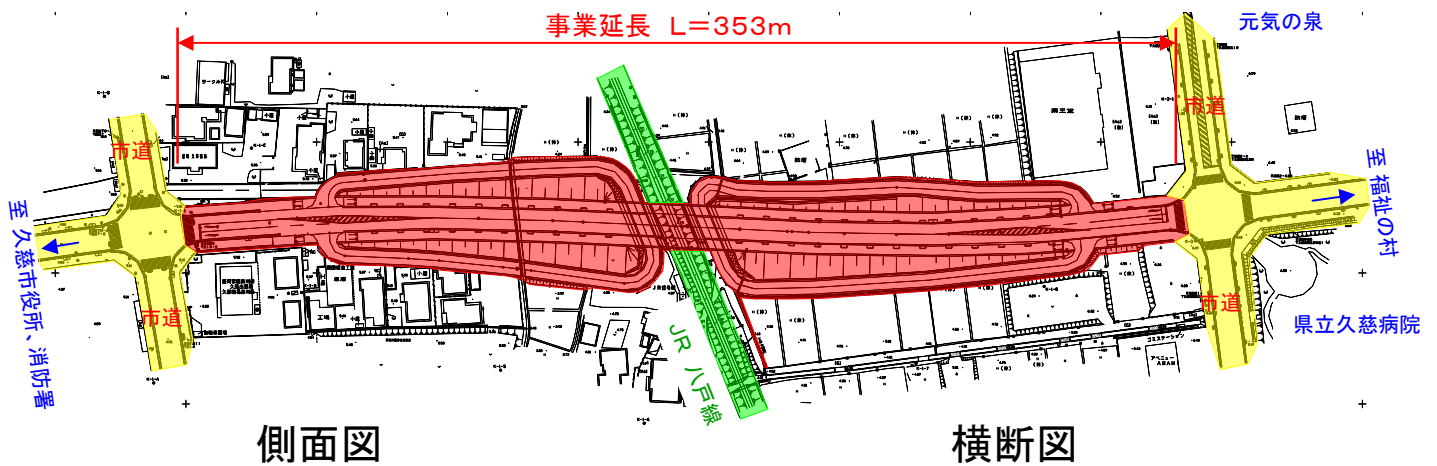
本区間の車道、歩道、跨線橋の新設整備を実施し、分断された地区間のアクセスの向上、県立病院への患者輸送時間の短縮、交通混雑の緩和、児童、生徒の通学時の安全を確保する。

至八戸



全体図(平面図・側面図・横断図)

平面图



下長内旭町線の整備効果アピール資料

「整備効果」

- ・道路の新設及び右左折レーンの設置により、市内の交通渋滞が解消された。
- ・広い歩道の新設により、通勤、通学の歩行者及び自転車の安全が確保された。
- ・河川等により分断されていた、消防署から県立病院のある市北部等を直線で結んだことにより、緊急車両等の走行性が高まり、第三次救急施設のある県立病院への患者搬送時間が短縮した。
- ・道路の新設により、除雪後における車両のすれ違いが容易になり、冬季交通が安全となった。
- ・渋滞解消により、市民バスなどの市内における定時性が確保された。
- ・側道を整備し、その側道に水道、下水の整備を行ったことから、周辺の住環境が改善された。
- ・JR線との交差を立体交差としたことから、踏切事故の危険性を軽減できた。

「その他の事業効果」

- ・開通式、交通解放予定日の9日前に東日本大震災が発生し、本路線の延長上に位置する「福祉の村」は、久慈市では最多の約1,000人が避難した。また、岩手県立久慈病院への緊急車両のアクセス道路としてその機能を十分に発揮した。震災時に完成していれば、津波避難路としても機能したと思われる。



事業前写真

平成14年9月撮影



事業前写真 1

平成19年4月撮影



事業前写真 2

平成19年4月撮影



事業前写真 3

事業後写真

平成23年3月撮影



事業後写真 1

平成23年3月撮影



事業後写真 2

平成23年3月撮影



事業後写真 3

至八戸

写真撮影 位置図



至宮古

写真撮影 平面図

